

会 議 録

内 容：平成 26 年度軽井沢町ランドデザイン像作成に伴う会議（第 9 回/全 19 回）

場 所：軽井沢町役場 第 5 会議室

日 時：平成 26 年 7 月 25 日（金）13 時 30 分～16 時 30 分

出席者：軽井沢町（藤巻町長、横島参与、依田課長、森室長、遠藤、春原）副町長他 6 名
中村委員長、森山委員、udc(護、小野寺、辻), 小野寺事務所(上條), アトリエ T-plus(南)

①「軽井沢 100 年未来デザイン像」イマイ氏との協議について小野寺氏より説明があり、確認を行った。結果下記。

◆スケジュールについて

・イマイ氏 来軽→ 8 月 28 日～30 日 決定

当日スケジュール（予定）

◎28 日(木)

午後から軽井沢を見学

※プリンスホテルスキー場の頂上（押立山の頂上）に登って、町全体を見渡す。

（初三郎が描いた画角に近い場所）

◎29 日(金)

※①軽井沢町と面会→11 時から中村先生、町長、課長等と面会。

②業務の説明→模型と図面をもって、エリアデザインを説明（予定）

③町中の案内→軽井沢町も同行

◎30 日（土）

午前中まで軽井沢を見学

◆図版について

・キャッチコピーを絵にいれるかどうかは、両方検討して欲しい。

→キャッチコピーを絵として入れる事は難しい。デジタル加工するかどうかは図版が完成してから検討したい。イマイ氏にはキャッチコピーはのせない方向で、場合よりのせる可能性もあると話している。のせるかどうかはイマイ氏と要相談。（小野寺）

・キャッチコピーは見直す予定である。8 月中までの写真を含め確定する。（予定）

②エリアデザインについて小野寺氏より説明があり、議論を行った。結果下記。

◆エリアデザインのスケッチ・模型写真・内容の整理について（資料 4）

・旧軽井沢の街並み・建築については、どこで表現するのか。（中村委員長）

→資料 4（1 頁）旧軽井沢①の銀座通りのイメージを、軽井沢モダンの街並みとして書き直す予定である。また、オープンカフェ等の様子も入れ、沿道の賑わいを含めて表現する。（小野寺）

・観光会館横の街角広場は、へそとなる部分なので、スケッチか何かで表現して欲しい。（中村委員長）

→資料 4 (1 頁) 旧軽井沢②賑わいを創出する聖祝祭プラザのスケッチに追加する。(小野寺)

・スケッチ 3 点のみで地区全ての内容を表現できるのか。人物のパフォーマンスを表現するスケッチは描けないか。(中村委員長)

→表現できる範囲でスケッチに入れ込む。(例えば旧軽井沢①のイメージスケッチには表現可能) スケッチに表現できないパフォーマンス等があれば、イメージ写真等で表現する等は可能である。その他、模型写真を入れる事も考えられる。地区毎に提示するイメージの表現方法については今後検討したい。(小野寺)

・エリアデザイン像の最終成果レイアウトのイメージはあるのか。文字等に入るのか。(中村委員長)

→大よそ、概要冊子と同じ内容を考えている。概要冊子の様に文字を入れ込むかどうかは要検討。今後、協議しながら詰めていきたい。(小野寺)

⇒軽井沢の未来像なので、人物のパフォーマンスを入れる等をして、強調した表現を意識して欲しい。現状では静かすぎる感じがする。(中村委員長)

⇒スケッチについては、順次で良いのでなるべく早めに提示して協議する方向で進めたい。(中村委員長)

◆エリアデザインについて

【旧軽井沢】

1. 聖祝祭プラザ+ 3. 旧軽銀座の街並み+ 3. 別荘保存の決意表明図

・旧軽井沢公民館は、築年数が経っており、50 年後にある建物ではない。矢ヶ崎公園管理棟の様に、公民館用途も入れた「諏訪ノ森公園管理棟」として用途を組み合わせた新しい提案をして欲しい。位置も変更して構わない。(依田課長)

→どこまで表現するかの問題がある。最終のエリアデザイン像に平面図は提示しないので、触れないでおく事も考えられる。技術論として報告書に提示する事はもちろん行うが、それで構わないか。(中村委員長)

→内部資料として報告書内のみの提示でも構わない。「公民館」という名前ではない新しい提案を検討して欲しい。(依田課長)

→名称は重要である。(サナトリウム等)

この場でなくても良いので、気になった点は事務局まで連絡お願いしたい。(全地区)

(現在ある建物の表記の有無(重要な建物、モニュメントが抜けてないか)、新規建物の名称が良いか悪いか、その他の新しい提案、等)

【新軽井沢】

1. 芸術遊創プラザ周辺(矢ヶ崎公園)+ 2. 駅東口から大賀ホール+ 3. 国道 133 号(表通り)

森山先生のご意見(詳細は資料を参照)

提案：①駅前再開発、②アートガーデン、③ゲートミュージアム

- ・①駅前再開発：矢ヶ崎公園と一体となった駅前空間の整備、北口と南口の動線確保
ベルヴェデーレ宮殿の様に軸線があれば良い。
- ・②アートガーデン：大賀ホールに至る全体をアートガーデンとして整備
コミッションワーク（街の一部になった「開かれたアート」）とする。一度にアートを
設置するのではなく、10年かけてアートを配備、入れ替える等の法をとり入れたアート
ガーデンとして整備する。駅前空間の独自性を創出させるためには、アートのテーマを
「音楽」等に絞って演出する方が効果的である。
- ・③ゲートミュージアム：軽井沢に現存する美術館の「玄関」となる展示場を整備
軽井沢の美術館の訪問誘導の役割を果たす機能をもたせる事が重要である。展示の
他、美術館、及び美術館までルート等が検索できる様にできれば、美術館の宣伝にもな
る。お互い協力して集客できるようにする。常設もあるが、1ヶ月に1回、季節に応じ
た企画展示を開催する。
例えば、旭川駅には1階部分に旭川市彫刻美術館の分館としてステーションギャラリー
が設置されているが、好評である。

・「ポータルミュージアム」は「ゲートミュージアム」にした方が良い。（森山委員）

・ゲートミュージアムの範囲はどの程度が良いか。（中村委員長）

→現状案程も必要なく、200㎡程度で良いと感じる。デザインミュージアムは「館蔵展」を
メインとする等、違いを明確にした方が良い。（森山委員）

・日本のテキスタイルの歴史には、西洋にはない深みがある。軽井沢近辺には富岡製糸場
等、絹の歴史がある。デザインミュージアムのテーマとして可能性はある。また、テキス
スタイル、ファッション等は特にある一部の所でコレクションがある。他にも日本には消え
てしましそうな作品民間で所有しきれなくなった作品）が沢山ある。価値ある作品が散在
しない様な対策が必要な時期となっている。（森山委員）

・アーティスト・イン・レジデンスを導入しても良い。夜になっても人が居る、においがす
る雰囲気が作る事も重要である。また、夜景として光を持ち込むライティング作品等を導
入する事も検討して欲しい。（ex：立川ラフォーレのネオンアート）（森山委員）

アーティスト・イン・レジデンス：各種の芸術制作を行う人物を一定期間ある土地に招聘し、その土地に滞在しな
がらの作品制作を行わせる事業のこと

・前回案より大幅に変更されており、今までの議論内で良いとなった提案も消えている。
前回の商業施設（公園管理棟とセットになったカフェ）は池に接し、水を感じる事が良い
という意見が挙げっていた。他に駅から矢ヶ崎公園の視界が通る配置についても良いとい
う意見であった。その案が消えている事は疑問を感じる。今までの議論が台無しにな
る。（依田課長）

→今回案は進士委員の意見を反映させ、駅から矢ヶ崎公園周辺を公園化する案とした。しか
し緑地配分は変更せず、都市公園法を無くし、公園内にも建物を配置させた案である。今
回案が絶対ではなく、感想を頂いて最終案としてまとめていく予定である。（中村委員
長）

→公園を意識する軸は大事だと思っている。（依田課長）

・先程、森山先生からもゲートミュージアムは現案程の大きさは必要ないと助言を頂いた所

である。緑（原風景）の中に佇む小さなゲートミュージアムは、宝物のような感じで印象も良い。小規模な建物であれば視界を遮る事なく配置可能である。（中村委員長）

・建物は1階建で充分である。それでも気になる様であれば半地下でも良いのではないかと。（森山委員）

・草軽交通（駅前地権者）に前回案で説明に行ったが、駅～大賀ホールを繋ぐ提案について賛同して頂けた。事業者にも協力頂ける様な、元気が出る提案として欲しい。（依田課長）

→進士先生からの意見を反映し今回案を作成したが、オープンスペースや池等の規模が大きすぎて軽井沢の雰囲気から見て、細やかさが消えてしまい、やりすぎな感じもしている。

駅前の緑地は、もう少し規模を小さくしても良いと感じている。（小野寺）

→ペDESTリアンデッキの脇は、前回案の様に事業者は入る施設として欲しい。LRTは新案でも良い。（依田課長）

→駅前の公園規模については拘らないが、軽井沢の原風景である「高原」のイメージは創出したい。起伏があり、庭園的な感じで表現できれば良い。（中村委員長）

・美術館のアートを集結して展示する事は有難い事であるが、ストックホルムの地下鉄アートの様に、生活の一部にアートが入り込み、人々がアートを自然に楽しめる感じが新軽井沢駅にはあっている感じがする。新軽井沢にアートを取り入れるのであれば、人々が楽しめる新しい形のアート（人とアート）を取り入れたい。（藤巻町長）

→ストックホルムの地下鉄は岩盤をくり抜いてできており、その自然な形を活用してアーティストが絵を描く等を行っている。自然と密接な関係を持っているアートである。美術館の玄関となるゲートミュージアムは駅前にあった方が効果的である。（森山委員）

→藤巻町長の提案には同意である。ゲートミュージアムとは少し性格は違うものである。表現は難しいが、1つのアイテムとして取り入れる事は可能である。（中村委員長）

・造園のアートを未来的な感じでスケッチの一部に取り入れる事が出来れば良い。（中村委員長）

→アートのはめ込み方がまだ見えていないが、建築と庭園が一体化した様な形はイメージできる。（小野寺）

→ここは乗り越えて、アートで何が建築か分からないようなアートガーデンを表現して欲しい。（中村委員長）

→駅前は人の空間として作り直す方向とし、アートを表現する事については承知した。しかし、駅前の事業者が前回案で賛同して頂いているのであれば、もう1度、前回案に立ち戻り検討したい。（小野寺）

→次回、8月10日までの町と協議する必要があるれば、日程を確保して協議を行いたい。（中村委員長）

【南軽井沢/南地区】

1. ユウスグオーラム（風の庭）+ 2. 発地市庭、植物園（山の庭） 3. 里山博覧エコミュージアム

・サッカー場の観客席はあった方が良いが、柵（ネット）の外になっている。（依田課長）

→観客席があった方が良いのであれば、もう少し台数を増やしても良いのでは。（中村委員長）

→【了承】観客席数を増加させて配置する。

・駐車場の総合的なキャパは問題ないと思うが、配置が偏っている。アイスパークの駐車場が半分になっている事が気になる。満車になった場合、路上駐車になる可能性が高い。

（森室長）

・資料に記載されている計画案の駐車可能台数は、計画案（第1～第3駐車場）を含めた数字（500台）として欲しい。（依田課長）

→ユウスゲ湿地帯は再生したい想いがあるが、現状の湿地帯範囲でデッキ等を入れる事が出来れば良い。（中村委員長）

→未来像なので駐車場台数に拘らなくても良いのでは。（藤巻町長）

→スポーツ施設と駐車場は縁切りできないため一体で検討する必要があると思っている。

（小野寺）

→スポーツ施設が沢山あるだけでは軽井沢の風格は出ない。軽井沢らしさを出すために、大胆に緑地をとり入れながら機能配置を検討する提案を行っている。なるべく現案の様に湿地帯範囲を広げる方向としたい。**最終判断は町で検討して欲しい。**（中村委員長）

【中軽井沢】

1. 街区と水路＋2. 湯川＋長倉公園＋3. 国道146号（表通り）

・駅前広場の再整備では、東西の自動車通行が不可能な事が懸念である。県の方では用地交渉が進んでいない状況であるため、現案では事業がとん挫する可能性が高い。（依田課長）

・現実的に一番問題は、駐車場が分離されている事である。図書館の駐車場（西側）は満車になる事が多々あるが、満車の場合は東側の有料駐車場を利用して頂く事になる。横断ができないと不便である事は間違いない。（藤巻町長）

・50年後の未来像だが不便さは解消する必要がある。利便性は考慮して欲しい。建物をセットバックし歩道を拡げる提案は良い。（依田課長）

→駅前歩行者空間としたい。どこにでもある駅前広場とまらない様な工夫を検討して欲しい。（中村委員長）

→車道としてではなく、通路（歩道に乗り入れる形）として車通行を確保する事も可能である。

→【了承】通路としての対応を進める。

【追分】

1. 街道の街並み＋2. 分去れ＋3. クリエーターズ・コロニー

・堀辰雄文学記念館の駐車場あたりは高低差がかなりあるが大丈夫か。（依田課長）

→10m程度の高低差がある。高低差については十分検討したい。（小野寺）

・街道の北側敷地裏に通っている水路は活用できないか。（中村委員長）

→小諸市の所有であるため、活用は難しい。なお、水路は改修されたばかりである。（依田

課長)

- ・ 追分地区は公費をつぎ込んで公共整備を行った。今度は地元頑張ってもらいたい地区である。それをバックアップ（補助金をつけて応援する等）する方向としたい。街道沿いの景観については、必ずスケッチに描いて頂きたい。（依田課長）
- 資料 5（2 頁）の追分地区の軽井沢モダンとして提示した様な建物にならって街並みを描く予定である。最近できた新しい店舗等は追分地区の雰囲気を踏襲している。（小野寺）
- ・ 追分は生垣が並ぶイメージではない。板塀が現実的と考える。（依田課長）
- ・ 芸術家コロニーは、どの様な機能が入るのか。（春原氏）
- 芸術家が集まる仕組みが出来ればと考えているが、具体的な提案は検討段階で止まっている。（中村委員長）
- ・ 芸術家村が三ツ石にあったが、別荘になってしまった。（依田課長）
- ・ 現在では芸術家のアトリエや宿泊機能については「油屋」が担っている。（藤巻町長）
- 「油屋」を応援する様な整備が現実的かもしれない。油屋を中心に知的交流する場を設ける方向で進めたい。（中村委員長）
- ・ コロニーが大規模な言葉であるため、「芸術家コロニー」は大げさすぎる感じがする。（森山委員）
- 絵として表現する事は難しい事であるため、上手く表現できる「言葉」を検討したい。（中村委員長）
- ・ オープンガーデンが可能であれば、スツールの様なベンチを設置してはどうか。追分地区のサインにもなる。（森山委員）
- ポケットパークを整備し、ベンチ等も設置している。しかし観光協会が運営をやめてしまっているため機能していない。（町）
- やはり地元発意のオープンガーデンとした方が良い。（小野寺）
- ・ 建築物だけでは街並みがまとまらない。独立樹は存在感が出て、風景にもなる。移植等も検討して欲しい。（中村委員長）
- 追分地区は大々的に改変する計画ではなく、再整理する方向で検討して頂きたい。（藤巻町長）
- ・ 軽井沢駅前にある 6 本のケヤキは、樹齢 90 年であり、移植でようやく根付いた代物である。駅前周辺は、昔「谷津」であったため地下水が高い。樹木が根腐れしないように 1m 程盛土した上に移植する等の工夫がされている。樹木の移植等については場所性を考慮して慎重に行う必要がある。また、駅前のケヤキはかなり成長しているため高くなっている。緑と建物の関係性についても一考して頂きたい。（町）

○次回の協議について

- ・ 次回会議は、平成 26 年 8 月 11 日（月）とする。

・ 議題は

- 1) 100 年未来デザイン
 - ①イメージ図の検討
- 2) エリアデザインの仕様

①各地区仕様（全体図に描きこむ事物・施設、例示場所（再確認含む））

②例示場所イメージ図

2) グランドデザイン像冊子

①構成について

3) 工程表（作業項目と日程）

4) 会議開催予定日程

○配布資料

1. 次第

2. 前回議事要旨（資料1）

3. 自転車・LRT ネットワーク図（資料2）

4. エリアデザイン5地区（資料3）

5. エリアデザインのスケッチ用模型写真・内容の整理（資料4）

6. 中軽井沢・西軽井沢モダンについて（資料5）

7. 軽井沢グランドデザイン像冊子（案）の構成について（資料6）

8. 平成26年度軽井沢町グランドデザイン像作成工程表（資料7）

※ 地区模型

以上